

キャップ32万個 ワクチン373人分

室蘭・海星学院高生徒会が寄贈



室蘭・海星学院高生徒会(一戸孝代会長)が16日、国際ソロプチミスト室蘭(中田久美子会長)にペットボトルキャップ約32万個を寄贈した。キャップは発展途上国の子どもたちを支援するワクチン購入資金に充てられる。

この日は中田会長らが同高を訪れ、キャップが入った段ボール85個を受け取った。中田会長は「毎年寄贈していたらいいが、こんなに大量のキャップを見るのは初めて。とても助かります」と感謝していた。佐々木雪菜副会長(3年)は「たくさんキャップが集まったのは障団連の方々

国際ソロプチミスト室蘭にペットボトルキャップを手渡す。海星学院高生徒会役員ら

や多くの市民の皆さまが協力してくれたおかげです。少しでも多くの子どもたちの助けになれば」と話していた。

同高ではユネスコスクールの活動の一環として積極的にペットボトル回収に取り組んでいる。登別市障害者団体連絡協議会(障団連・高橋良夫会長、7団体)から回収したキャップと同高生徒や保護者、地域住民から集めたキャップを合わせ32万個となった。860個でワクチン1人分(約20円)。今回集まったキャップは373人分に相当する。(石川綾子)